

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：都市地域整備局街路交通施設課  
担当課長名：松井 直人

事業名	京急本線・空港線連続立体交差事業（平和島駅～六郷土手駅・京急蒲田駅～大鳥居駅間）		事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自（本線）大田区大森北六丁目（空港線）大田区蒲田二丁目 至（本線）大田区仲六郷四丁目（空港線）大田区西糀谷四丁目		延長	6.0km		
事業概要：本事業は、平和島駅から六郷土手駅までの全長4.7kmの本線と京急蒲田駅から大鳥居駅までの全長1.3kmの空港線を連続して立体交差化し、環状8号線や第一京浜を含む28箇所の踏切を除却することで、交通渋滞を解消するとともに、安全で快適なまちづくりを行い、沿線地域の住民生活と都市活動を向上させる。						
H2年度事業化		H11年度都市計画決定		H13年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費		1650億円		事業進捗率		61%
踏切交通遮断量		約1,200,000台時/日				
費用対効果分析結果	B/C（事業全体）	総費用（残事業）/（事業全体）		総便益（残事業）/（事業全体）		基準年 平成20年
	3.4 （残事業） 5.3	841/1,325億円 （事業費：841/1,325億円） 維持管理費：0.20/0.20億円		4,494/4,494億円 （走行時間短縮便益：4,227/4,227億円） 走行経費減少便益：207/207億円 交通事故減少便益：60/60億円		
感度分析の結果 交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。						
事業の効果等 ・環状8号線、第一京浜を含む28箇所の踏切がなくなり、交通渋滞が解消される。 ・踏切事故がなくなり、道路と鉄道の安全性が高まる。 ・関連事業により各駅周辺の駅前広場、アクセス道路、駐輪場等が整備されることで、バス・車・自転車への乗り換え利便性が高まり、シームレスな交通体系の構築に寄与する。等						
関係する地方公共団体等の意見 本事業により、環状8号線、第一京浜などの慢性的な交通渋滞の解消が図られるとともに、鉄道による隔てられた地域の一体化が実現し、沿線のまちづくりに大きく寄与することから、大田区からも早期完成の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 除却する踏切28箇所のうち、環状8号線や第一京浜などでは、慢性的な渋滞を引き起こしており、状況はますます深刻化している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成12年に事業認可を取得し、用地については、約80%を取得している。工事については、全線に渡って本設高架橋工事が本格化している。引き続き、全線高架化に向けて駅舎工事や軌道工事を進めていく。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成24年度の全線立体化、平成26年度の事業完了に向けて順調な進捗が見込まれる。						
施設の構造や工法の変更等 直上工法への変更に伴い、高架橋の柱、梁、床版をプレキャスト化し、作業効率の向上及び品質の安定化を図っている。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。